

## パイオニア精神を持って

動物応用科学科3年鏡内康敬

野生動物が好きかどうかと訊かれたら、私はまず戸惑うだろう。野生動物が元々そういった対象でない気さえする。ただ、野外で活動することは好きだし、野生動物への興味は抱いていたので、彼らについてもっと知りたいとは前々から思っていた。

野生動物を知るためには、実際にフィールドで観察しなければならない。そのためには、まずフィールドワークが必要になる。ということで、私は大学入学後に探検部に入部し、最低限の技術を学んだ。また、調査会社でのバイトで現場を知り、学会やゼミ、調査などに参加して知識を得てきた。

大学入学後に興味を持ったものの一つに「鳥」がある。鳥の中でもフクロウとライチ

ヨウに強く魅かれた。フクロウは夜行性猛禽類、ライチヨウは高山帯にのみ生息するという、その神秘性に探究心を刺激されたのだ。特に、ライチヨウでは冬での生態に興味を持ったため、流れとして私は社会人山岳会で高度な登山技術を学んできた。

そういうわけで、研究室での卒業研究というのは私にとって、知りたいことを追求できる素晴らしい機会であり、大学生活の集大成である。また、これまでお世話になった方々への感謝を表す場でもある。新しいことに挑戦し切り開いていく探検・冒険家のようなパイオニア精神を持って臨み、自分自身の納得のできる形に仕上げたいと思う